

政策提言フォーマット

1 団体概要

団体名

山のトイレさわやか運動

所在地

東京都港区西新橋2-11-5 セントラル新橋ビル3F
日本トイレ協会内

代 表

田部井 淳子

担 当

椎名 宏子

連絡先 tel

03-3580-7487

fax

03-3593-1374

e-mail

kato@toilet.or.jp

団体の活動プロフィール

“山でのし尿のたれ流しをやめる”ことを目標として1997年に発足した任意団体。山の中での本当の快適さは何かを考え、山岳団体、山小屋、自治体、関係省庁、そしてトイレ専門家などと情報交換しながら、最善策を検討してきました。

具体的な活動は以下のとおりです。

山岳トイレ改善のための募金(チップ)箱を作成し、希望施設や・公共施設に配布
(200個)

し尿持ち帰り袋およびペーパー持ち帰り袋を、山岳団体、自治体などに配布(5000枚)

し尿・ペーパー持ち帰り実践登山の実施

山岳マップへのトイレマーク記載活動協力

全国の山岳地域における水質(水場)調査実施(163地点)

「新・地球人宣言'99富士山」「アウトドアズフェスティバル」などへのイベント参加

政策提言フォーマット

2 政策提言概要

(1) テーマ 「日本列島・水源水質調査」の実施による水源水質および生態系の保全
(2) 政策対象分野 自然保護政策、とくに山岳自然環境の保全
(3) 政策手段 NGOとの連携による新規施策の実施 法改正などの必要があるかは不明
(4) 提言概要 「山のトイレさわやか運動」では、昨年初めて全国的な山岳地の水質調査を行なった。その結果、一部の山域で大腸菌などによる汚染状況が明らかになった。しかし、調査検体の水質分析は一般登山者が行なっているため、調査結果の不安定感は免れない。 そこで、専門機関による水質調査分析の必要性が痛感された。 そのためには、行政とNGOとの協力体制が不可欠と思われる。 また、専門家による調査結果の分析評価も行い、今後の自然保護政策に反映させることが必要である。 水源水質、生態系の保護を含めた山岳環境の保全を図るために、官・民・学が一体となった調査体制を確立すべきだ考える。
(5) 政策の推進に当たっての検討事項